

別紙（最終年度評価書）

平成31年度文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

通し 番号	3	事業区分： 劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業
		助成対象団体名： 公益財団法人神奈川芸術文化財団 施設名： 神奈川県立県民ホール（本館・KAAT 神奈川芸術劇場）
<p>助成対象活動に関する評価</p> <p>（妥当性）</p> <p>当該劇場では、神奈川県が策定した「かながわ文化芸術振興計画」を踏まえて、誰にでも等しい鑑賞環境の整備、質の高い文化芸術の提供、国際交流の推進、専門的な人材の育成、地域コミュニティの再生などをミッションとして掲げている。</p> <p>ミッションに基づいて、5つのプロジェクトを設定し、演劇、ダンスを中心としたオリジナル作品の創造・発信事業、オペラ、バレエを中心とした鑑賞事業、「全ての人に開かれた劇場」をコンセプトとした「オープンシアター」をはじめとする普及事業などを通じて、「多様性が育む共生社会の実現」に向けた事業を展開している。計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通り、事業が推進されたことが認められる。</p> <p>（有効性）</p> <p>「観客創造プロジェクト」では、県民ホール制作オペラ「ヘンゼルとグレーテル」をピアノ版として足柄など県西部の劇場で再演し、優れた文化芸術に触れる機会の地域差を解消するための取組がなされた。また、「オープンシアター」で年齢や国籍の違い、障害の有無に関係なく、舞台を楽しみ交流できるサポート体制に取り組んだ他、視覚障害者との協働による音声ガイド制作を通じて、障害そのものへの理解を深めることに成功した。文化芸術の体験拡大と多様性ある社会の実現に向けた取組が実施されたと認められる。</p> <p>「同時代の芸術創造プロジェクト」では、芸術監督や若手・中堅の演出家の舞台作品を中心に、他ジャンルのクリエイターとの協働で新しい芸術表現に取り組んだ。両劇場で10作品以上の創作初演や新演出を実施した他、県内外のツアー公演は19自治体（いずれも平成30年度）に及び、優れた芸術作品に与えられる賞を複数受賞し高い評価を受けた。実演芸術水準の向上に資する活動が展開されたと認められる。</p> <p>制作者・技術者の国際的なネットワーク構築への貢献を果たす「国際舞台芸術ミーティング」では、参加国数や海外からの参加者数の目標は達成したものの、KAATにとっての具体的な成果をより明確にする必要があり課題が残った。一方で、横浜市と連携した「KAAT ダンスシリーズ 2018」では、国際的に評価の高い海外カンパニーを招へいし、松葉杖のダンサーによる舞踊作品を上演するなど、多様性ある社会の実現に向けて、貴重な鑑賞機会を提供した。国際文化交流の推進に資する活動が実施されたと概ね認められる。</p> <p>「専門人材養成プロジェクト」では、他劇場からの職員研修受入数が目標を達成できなかったが、研修期間の設定の検討など善後策が示された。アンダースタディ、大学授</p>		

## 別紙（最終年度評価書）

業との連携、劇場インターンなど多様な形での人材育成も確認できた。また、「地域文化振興調査プロジェクト」では、外部有識者を招いた劇場評価に関する研究会を実施し、設置者と情報共有を図るなど、実演芸術振興の基盤強化に向けた取組の実施は概ね認めることができた。

以上のことから、指標の未達成が一部見られるものの、アウトカムの発現が概ね認められる。

### 【新型コロナや台風等の影響を受けたもの】

事業番号 2「I 観客創造プロジェクト①オルガン・プロムナードコンサート ②オルガン3館連携事業」3月27日

事業番号 6「I 観客創造プロジェクト松山バレエ団『新・白鳥の湖』」

事業番号 10「I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オペラ講座(巡回)②オペラ講座 ③オルガン講座 ④チェンバロ講座」③の第2回と④

事業番号 23「IV 専門人材養成プロジェクト インターン 公演制作(音楽、演劇)、舞台技術」公演制作(演劇)後期・舞台技術

### (効率性)

事業期間は概ね適切であったと認められるものの、一部の事業において、要望時の事業期間と実績との間で乖離があった。事業期間について、実効性のある事業計画の立案と適切な事業実施に努めてほしい。

また、事業費も概ね適切であったと認められるものの、一部の事業において、要望時の予算額と報告時の実績額との間で乖離があった。実効性のある予算積算と適切な予算管理に努めてほしい。

### (創造性)

当該財団の芸術総監督である一柳慧は、芸術監督プロジェクト「Memory of Zero」で楽曲を提供した他、プロデュースしたフラックス弦楽四重奏団の公演では、自作や招待作曲家の演奏のほか、国内外の若手作曲家から作品を公募してワークインプログレスによる初演を企画した。現代音楽の第一人者ならではのプログラム構成は独創性に優れていた。

KAAT 芸術監督の白井晃は、演出、出演、プロデュースと複数の立場でプロジェクトに参加し、現代日本演劇を牽引する若手・中堅劇団やさまざまな分野のクリエイターとの協働にあたって求心力を発揮した。自身が演出した「華氏 451 度」をはじめ、KAAT 発のジャンル横断的な新たな舞台表現の創造を通じて、独創性と新規性に優れた劇場活動を推進した。劇場のプロデュースや共同制作による公演では、「山山」が岸田國士戯曲賞を受賞したほか、「オイディプス REXXX」は読売演劇大賞スタッフ賞優秀賞を受賞し、劇場の対外的な評価向上にも大きく貢献している。

また、KAAT 館長と技術監督の堀内真人は、国内外の劇場での豊富な経験を活かし、KAAT の最先端の舞台機構を駆使して作品の創造性を技術面から支えるとともに、他劇場とのネットワークにおいては先導的な役割を果たしている。

## 別紙（最終年度評価書）

事業内容が、独創性、新規性、先導性等に優れており、事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっていると認められる。

### （持続性）

組織面では、館長、芸術監督、プロデューサー、技術監督をはじめ、各部門の優秀な人材の確保を図っている。また、3年以上の契約職員の無期雇用への転換を図っており、安定的な事業計画の実現に向けて推進していると認められる。労務環境に関しても、「働き方改革」関連法の実施に伴い、長時間労働につながる事業量全体に見直しがあり、人員補充を行うなど対策が講じられ、持続的な活動に向けた体制づくりがなされた。

財政面では、KAAT はミュージカルに、本館はポップス系のコンサートに長期的な貸出を行い施設利用料の安定的な収入確保に努めている。指定管理料も三か年の推移では安定している。複数の助成金の獲得のほか、賛助会員組織やインターネットを通じた小口寄附の仕組みも整備しており、財源の多様化に取り組んでいる。

ネットワークの面では、公演ツアーだけでなく、指導的な役割を担う県公立文化施設協議会、劇場・音楽堂等連絡協議会、公共劇場舞台技術者連絡会などを通じて連携の強化に努めている。

また、令和3年よりKAAT 芸術監督に就任予定の長塚圭史が、平成31年4月から参与となった。長塚は「常陸坊海尊」をはじめとしてKAAT で数多く作品を発表しており、白井との引き継ぎ期間も十分に確保され、劇場プログラムの継続性が期待できる。

以上のことから、事業計画を通じて組織活動が持続的に発展し、持続的なアウトカムの発現・定着が期待できると認められる。

### （総 評）

神奈川県民ホール（本館・KAAT 神奈川芸術劇場）は、KAAT において劇場の強みである芸術監督の高い芸術性とネットワークを活かして、若手・中堅の実演芸術団体や他分野のクリエイターと協働し、新たな舞台芸術作品の創造に取り組むとともに、館長や技術監督の高い専門性を活かし、技術面で作品創造の質を支えるにあたって、全国及び県内で指導的な役割を果たし、我が国の実演芸術の水準の向上に貢献した。

また、本館においてオペラ作品のピアノ版を県内の地域劇場で再演することで、鑑賞機会の地域差解消に取り組み、地域コミュニティ活性化に貢献したほか、「全ての人に開かれた劇場」をコンセプトにした「オープンシアター」で、年齢や国籍の違い、障害の有無に関係なく、舞台を楽しみ交流できるサポート体制に取り組み、多様性が育む共生社会の実現に向けた事業で社会的な課題解決に貢献した。

異なるタイプの2つの劇場を活用し、創造的かつ広域的な公立劇場として戦略的な事業展開が実施されたと認められる。